

11 生麦第二地区



1. 第4期計画策定（令和3年度～7年度）



みんなの笑顔が みんなの健康が
なまに（生麦第二地区の愛称）の元気の源

目標1 住みなれたまちで、みんなの笑顔あふれる暮らしを

■5年間の具体的な取組

- ①声をかけあい、思いやりの心でつながるまち
（例：ご近所付き合い、小学生の登校時の見守り）
- ②いつまでも住み慣れたまちで健康に暮らそう
（例：地域サロン、高齢者の食事会、健民運動会）
- ③地域に暮らす誰もが居心地の良さを感じるまちづくり



<なかよしサロン>

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標2 まもろう みんなで安心して暮らせるまち

■5年間の具体的な取組

- ①ひとり1人が防災への意識を高く持ち
災害に備える強いまち（自助）
（例：備蓄品の準備など日頃からの備え）
- ②災害時、要援護者をはじめ隣近所で
助け合えるまち（共助）
- ③身近なところから防犯・防災活動の取組みを継続していこう
（例：ふれあい防災訪問、防災訓練、防犯パトロール、社会を明るくする運動）



<ふれあい防災訪問出陣式>

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

目標3 子どもから高齢者までみんながまちの にない手（主役）に…

■5年間の具体的な取組

- ①多世代が楽しく交流できるまち
 - ・安心して子育てができるまち
 - ・子どもの笑顔を守り、健やかに育つまち
 - ・誰もが孤立しないまち
- ②地域活動を未来に引き継ごう ～次世代へのバトンタッチ～
- ③地域情報の発信者と受信者とのつながりを意識した情報伝達と共有方法の工夫（掲示板/回覧板/メール等 ツールの積極的な活用）



<子育てサロン>

交流 多様な主体	支えあい 見守り	健康
人材		
相互理解		
場・機会		

区計画とのつながり

2. これまでの取組について

<第3期計画の主な取組内容（平成28年度～令和2年度）>

明るく 楽しく 元気よく！ みんな「あいさつ」できるまち

目標1 見守りネットワークのある、みんなが元気でつながれるまちづくり

目標2 子育て世代が、地域とつながり安心して子育てができるまちづくり

目標3 災害時も安心できるまちづくり

○5年間の活動の振り返り

- ・リアル HUG 訓練（避難所運営訓練）や DIG 訓練（住民参加型災害図上訓練）を用いた状況に合わせた災害への取組み
- ・ウォーキングを定期的に行い健康増進だけでなく、ご近所同士の顔の見える関係づくり
- ・毎年開催される健民運動会では子ども、大人、高齢者が一体となり総勢 2,500 名を超える参加

○活動を通してみえてきたこと

- ・毎月開催されている「親子の居場所」の周知方法や活動内容の拡充
- ・情報を必要としている住民が、その年代に応じた情報に効率的にアクセスできているか。
- ・住民同士の交流は活発だが役員の後継者不足が進んでいる。

ライフステージに関係なく自治会活動に無理なく参加できる仕組みづくりの必要性



<生麦第二地区社協研修会>
(生二あいねっと地区フォーラム)
での DIG 訓練



<健民運動会>

<第4期計画策定に向けて>

○地区懇談会での意見

令和元年 11 月 25 日（月）岸谷会館にて開催

14 名の地域のみなさんと、『私のまちの良いところ』、『気になること』について意見を出し合いました。

- ・「いろいろな行事があり、参加者も多く活発なところが良い」
- ・「空き家対策・ゴミ出し問題に取り組んでいる」
- ・「高齢者の孤立予防、外出などの支援が盛んだ」

など、各町会の工夫している取り組みを通してまちの状況を共有しながら、第3期計画を振り返りました。



<話し合いの様子>



<いろいろなご意見が出ました>

○地区懇談会の結果を踏まえて、地域での話し合いでた意見

令和3年7月26日（月）第1回検討委員会

- ・町内会の活動を見える化し、地域住民に浸透させていきたい。
- ・若い世代に向けて情報の発信と共有を工夫し、また、町内会全域でほしい情報が手に入りやすい工夫をして行こう。

令和3年10月25日（月）第2回検討委員会

- ・向こう三軒両隣の精神や食事会などの取組を活発化させよう。
- ・備蓄品の備えなど、日頃から災害について取り組もう。

